

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0656 ◆◆◆

21/10/13

【 今年のドル/円、過去 5 年の「最高変動」を記録 】

ドル/円相場の上昇が止まらない。先週から今週に掛けて上方向のテクニカルポイント、たとえば昨年高値の 112.22 円に続き、一昨年 2019 年高値 112.40 円などを次々に突破。ついには 12 日には 113.78 円まで達してきた。

そうした状況を年間変動率の観点から見ると、年初来のドル/円の変動幅・同率は 11.19 円、10.85% となっている(10月12日現在;下表参照。以下同)。これはもちろん、過去の平均年間変動幅や同変動率に及ばないものの、昨年をすでに上回っただけでなく、過去 5 年間で最高レベルの変動だ。今年も残り 2 か月強、さらなる変動をたどるのか動静を注視している向きは少なくない。

◎過去の年間平均変動 15%達成なら 120 円レベルも!?

ある通貨が一年を通してどの程度動くのかを数値化した「年間変動率」は、筆者の好きな分析方法だ。詳細については、2月24日付など、過去のバックナンバーを参考にされたいが、たとえばドル/円の平均年間変動幅は 17.75 円、同変動率は 15.87%となっている。

そんな基礎的条件を念頭に、今年のドル/円の年初来変動幅はというと前述したように 11.19 円、変動率 10.85%を記録している。

もちろん、平均的な過去の年間変動には依然として遠く及ばないが、ここ数年はドル/円の動意が乏しかったことは周知のこと。日経新聞でも「動かぬ円相場」などと書かれたことは当レターでも何度も取り上げたし、記憶にもまだ新しいところだろう。しかし、今年も残り 2 か月半を残すなか、そうした過去に匹敵、一部分については凌駕するような展開をたどりはじめた。年末にかけ、さらなる動意を期待せずにはいられない。

では仮に、今年のドル/円がこの先も活発な相場変動をたどり、過去平均の 15.87%程度の年間変動をたどったとすれば、ドルの上値はいったいどの程度のレベルとなるのだろうか。

単純計算では 119 円程度、場合によっては 120 円に迫る局面があっても不思議はないようだ。飽くまで「大いなる期待感にともなう予想」だということは重々承知しているが、先週報じたように今年の 10 月は「波乱含み」で予断を許さない。いずれにしても、ドルはまだまだ大きな上値余地を残している可能性もある。

一方、ドル/円以外の主要通貨ペアはというと、ユーロ絡みそしてポンド絡みの通貨ペアも総じて期待外れ。

なかでもユーロ/円は、年初来 9.03 円、7.17%しか変動しておらず、これはユーロ正式誕生後にもっとも動意の乏しかった 2019 年(11.63 円、9.24%)を大きく下回る過去最低レベルだ。もちろん、改めて指摘するまでもなく、年内あと 2 か月半とまだまだ十分な時間を残しているものの、果たしてどうなのだろう。ドイツ総選挙を経たのちの党首交代と連立交渉など、注目すべき材料が年内にまだ残っていることもあり、これからユーロ相場が大きく動くことを期待はしている。

しかし、ここまでの値動きを見る限り、今年には「ユーロやポンドの年」ではなく、久しぶりに訪れた「ドル/円の年」である気もしないではない。(了)

	ドル/円の年間変動率					変動幅	変動率
	OPEN	LOW	HIGH	CLOSE			
2010	92.75	80.23	94.99	81.13	14.76	15.91	
2011	81.14	75.57	85.53	76.90	9.66	12.28	
2012	77.06	76.02	86.79	86.74	10.77	13.98	
2013	86.61	85.54	105.41	105.28	18.67	21.79	
2014	105.33	100.76	121.84	119.66	21.08	20.01	
2015	119.89	115.85	125.66	120.20	10.01	8.35	
2016	120.32	99.00	121.69	117.03	22.69	18.86	
2017	116.75	107.32	118.60	112.89	11.28	9.66	
2018	112.65	104.64	114.55	109.60	9.91	8.80	
2019	109.80	104.10	112.40	116.65	8.30	7.56	
2020	108.65	101.19	112.22	103.30	11.03	10.15	
2021	103.10	102.59	113.78		11.19	10.83	
平均					17.75	15.87	

*注:変動率は「変動幅/OPEN」
2021は10/12までのデータを使用し平均には含まず



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

